

令和2年度 事業評価書

事業概要

交通安全意識の高揚を目的に、交通安全の広報、啓発活動及び交通弱者の交通安全教育など、交通安全の推進活動を実施します

担当課 防災危機管理室
防災安全係 内線222・223

予算科目

2 款 1 項 10 目 1 事業 交通安全推進費

予算額	1,972千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	1,972千円
決算額	1,642千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	72千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	1,570千円

計画 (PLAN)

主な事業	交通安全推進事業	運転免許証自主返納支援事業
事業内容	交通安全意識の高揚を目的に、交通安全啓発品の配布及び各種キャンペーンを開催します。	65歳以上の高齢ドライバーが免許証を自主返納した時にその後の支援品として、海づりバス及び知多バス（師崎線）の共通1日乗車券6,000円分を交付します。
基本施策① ※①	3-2 つながりを活かした交通安全と防犯	3-2 つながりを活かした交通安全と防犯
基本施策② ※①	3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ	3-5 暮らしを支える地域公共交通
基本施策③ ※①		
重点政策 ※②	1 2 ③	1 2 ③

実施 (DO)

主な事業	交通安全推進事業	運転免許証自主返納支援事業
予算額	1,612,000円	360,000円
決算額	1,437,566円	204,000円
財源（一般財源）	1,365,566円	204,000円
（その他）	72,000円	0円
執行率	89.2%	56.7%
事業実績	人身交通事故件数 27件 死亡事故件数 1件 交通安全推進協議会全体会 1回/年（書面） 交通安全教室 1回/年 交通安全キャンペーン 2回/年 交通安全テント基地 1回/年（縮小） シートベルト関所 3回/年（縮小）	申請件数 34件

評価 (CHECK)

事業指標	人身交通事故件数の削減	運転免許証自主返納支援事業の実施
目標値	死亡事故ゼロかつ人身交通事故件数32件（死亡0件・重傷4件・軽傷27件）	60件/年
実績値	人身交通事故件数27件（死亡1件・重傷0件・軽傷26件）	34件/年
達成度	未達成	未達成
担当課評価 ※③	人身交通事故件数は減少したため、啓発活動の効果はあったと考えるが、2年連続で死亡事故が発生しており、更なる対策が必要である。	実績値現減少の原因は、コロナ禍における外出自粛や、警察窓口の混雑等によるものと考え、半田警察署管内で、認知機能低下が原因と思われる死亡事故が発生しており、広報活動を強化し、返納の促進を図る必要がある。
基本施策有効評価（妥当性） ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い
費用対効果評価（効率性） ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い

改善 (ACTION)

課題	効果的な啓発活動が必要	効果的な広報が必要
改善・対応策	警察と連携し、効果的な啓発活動を実施する SNS等を利用した啓発を実施する	高齢者が参加する会合や集会に出向き、広報活動を実施する。
推進方針 ※⑤	B	B

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価（妥当性）…基本施策に対する有効性の高低（効率性）…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要 交通安全施設（防護柵、区画線、カーブミラー等）の新設工事を実施します

担当課 防災危機管理室
防災安全係 内線222・223

予算科目 2 款 1 項 10 目 2 事業 交通安全施設整備費

予算額	2,100千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	2,100千円
決算額	2,057千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	2,057千円

計画 (PLAN)

主な事業	交通安全施設整備事業		
事業内容	交通安全施設（防護柵、区画線、カーブミラー等）の新設工事を実施します。		
基本施策① ※①	3-2	つながりを活かした交通安全と防犯	
基本施策② ※①	3-4	安心な暮らしを支えるインフラ	
基本施策③ ※①			
重点政策 ※②	1	2	③

実施 (DO)

主な事業	交通安全施設整備事業	
予算額	2,100,000円	
決算額	2,057,000円	
財源（一般財源）	2,057,000円	
（その他）	0円	
執行率	98.0%	
事業実績	区画線 2349.4m カーブミラー 4基	

評価 (CHECK)

事業指標	交通安全施設の新設工事完了		
目標値	令和3年3月31日まで		
実績値	令和3年3月31日まで		
達成度	達成		
担当課評価 ※③	交通上の危険個所に交通安全施設を新設することで、安全性の向上を図った。		
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	

改善 (ACTION)

課題	交通安全施設の整備について、地元要望が多数あるため、全て対応することができない。	
改善・対応策	整備計画を作成し、優先順位に応じて、順次対応する。	
推進方針 ※⑤	B	

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONIに対する評価
 ※④ 評価(妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要 交通安全施設及び駐輪場の維持管理を実施します

担当課 防災危機管理室
防災安全係 内線222・223

予算科目 2 款 1 項 10 目 3 事業 交通安全施設維持管理費

予算額	2,061千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	2,061千円
決算額	1,911千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	1,911千円

計画 (PLAN)

主な事業	交通安全施設維持管理事業	駐輪場維持管理事業
事業内容	交通安全灯、カーブミラー等の維持修繕を実施します。	内海駅高架下に設置してある町営駐輪場の維持管理及び放置自転車撤去を実施します。
基本施策① ※①	3-2 つながりを活かした交通安全と防犯	3-2 つながりを活かした交通安全と防犯
基本施策② ※①	3-4 安心な暮らしを支えるインフラ	3-4 安心な暮らしを支えるインフラ
基本施策③ ※①		3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ
重点政策 ※②	1 2 ③	1 2 ③

実施 (DO)

主な事業	交通安全施設維持管理事業	駐輪場維持管理事業
予算額	1,948,000円	113,000円
決算額	1,814,466円	96,060円
財源 (一般財源)	1,814,466円	96,060円
(その他)	0円	0円
執行率	93.1%	85.0%
事業実績	修繕等 交通安全灯 1件 カーブミラー 12件	放置自転車等処分手数料 18,645円 駐輪場用地借地料 77,415円

評価 (CHECK)

事業指標	交通安全施設の現況把握	放置自転車の撤去作業
目標値	1回/年	1回/年
実績値	1回/年	1回/年
達成度	達成	達成
担当課評価 ※③	毎年施設を新設することで施設数が増加しており、また、過去に設置した施設の老朽化により、管理に係る労務と費用が増加している。	放置自転車の撤去台数が前年より減少しており、事業効果はあったと考える。
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 ② 3 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い

改善 (ACTION)

課題	老朽施設の内、地域の交通情勢の変化により、使用頻度が低下したものや、必要性がなくなったものが存在する。	特になし
改善・対応策	老朽施設の内、地域の交通情勢の変化により、使用頻度が低下したことから、順次撤去する。	放置自転車の対策について、事業効果が出ているため、次年度も同様に実施する。
推進方針 ※⑤	B	B

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要

町民の交通安全意識の高揚と正しい交通安全ルールの習慣化を促進するため交通指導員を設置します

担当課 防災危機管理室
防災安全係 内線222・223

予算科目

2 款 1 項 10 目 4 事業 交通指導員設置費

予算額	5,078千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	1,000千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	4,078千円
決算額	3,550千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	1,000千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	2,550千円

計画 (PLAN)

主な事業	交通指導員設置事業		
事業内容	町民の交通安全意識の高揚と正しい交通安全ルールの習慣化を促進するため交通指導員を設置します。		
基本施策① ※①	3-2	つながりを活かした交通安全と防犯	
基本施策② ※①	3-6	多様性を認め、共に支え合うコミュニティ	
基本施策③ ※①			
重点政策 ※②	1	2	③

実施 (DO)

主な事業	交通指導員設置事業	
予算額	5,078,000円	
決算額	3,549,520円	
財源 (一般財源)	2,549,520円	
(その他)	1,000,000円	
執行率	69.9%	
事業実績	交通指導員 4名 (内、1名7月~3月、1名9月)	

評価 (CHECK)

事業指標	交通指導員設置数		
目標値	4名		
実績値	3名		
達成度	未達成		
担当課評価 ※③	前年から1人増員となったが、目標値である4名を配備するために、引き続き募集する。		
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い	

改善 (ACTION)

課題	人員が不足しており、増員の必要があるが、募集しても応募がない。	
改善・対応策	雇用条件の改善を検討し、応募を促す。	
推進方針 ※⑤	B	

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONIに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要

犯罪防止のため、防犯運動の推進、防犯連絡責任者の委嘱、防犯灯の設置促進、安全なまちづくり及び暴力追放活動の推進に努めます

担当課 防災危機管理室
防災安全係 内線222・223

予算科目

2 款 1 項 13 目 1 事業 防犯対策費

予算額	2,452千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	2,452千円
決算額	2,199千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	2,199千円

計画 (PLAN)

主な事業	安全なまちづくり推進活動事業	防犯灯設置費補助事業
事業内容	安全なまちづくりを推進するための事業を実施します。 ・安全なまちづくり推進協議会 ・安全なまちづくりキャンペーン ・防犯カメラ設置 ・防犯カメラ設置費補助事業 ・暴力団追放活動	防犯灯設置促進を目的に区で設置する防犯灯の整備費に対して補助を行います。
基本施策① ※①	3-2 つながりを活かした交通安全と防犯	3-2 つながりを活かした交通安全と防犯
基本施策② ※①	3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ	3-4 安心な暮らしを支えるインフラ
基本施策③ ※①		3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ
重点政策 ※②	1 2 ③	1 2 ③

実施 (DO)

主な事業	安全なまちづくり推進活動事業	防犯灯設置費補助事業
予算額	1,352,000円	1,100,000円
決算額	1,104,836円	1,093,512円
財源 (一般財源)	1,104,836円	1,093,512円
(その他)	0円	0円
執行率	81.7%	99.4%
事業実績	安全なまちづくり推進協議会 1回/年 (書面) 安全なまちづくりキャンペーン 2回/年 防犯カメラ設置累計 12台 (2台増設) 防犯カメラ設置費補助金交付件数 1件 暴力団追放パレード 中止	新設 29基 LEDへの付替え 43基

評価 (CHECK)

事業指標	犯罪発生件数の削減	防犯灯設置への補助を実施する
目標値	刑法犯認知件数66件	新設30基・LEDへの付替え40基
実績値	刑法犯認知件数70件	新設29基・LEDへの付替え43基
達成度	未達成	未達成
担当課評価 ※③	警報犯罪認知数が増加しており、各種事業の継続や改善が必要と考える。防犯カメラを2台増設し、防犯対策の強化を図った。	概ね目標値を達成でき、町内の防犯対策の強化を図れた。
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い

改善 (ACTION)

課題	効果的な啓発が必要。	地元からの要望が急激に増加した。
改善・対応策	警察や地元団体と協力し、効果的な啓発方法を検討する。	各区に、補助金の適正かつ効果的な活用について理解してもらうよう周知する。
推進方針 ※⑤	B	B

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONIに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要 町広報等で自衛官募集の案内を行います

担当課 防災危機管理室
防災安全係 内線222・223

予算科目 2 款 1 項 15 目 3 事業 自衛官募集事務費

予算額	20千円	財源内訳	国庫支出金	20千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	0千円
決算額	17千円	財源内訳	国庫支出金	15千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	2千円

計画 (PLAN)

主な事業	自衛官募集事務事業	
事業内容	町広報等で自衛官募集の案内を行います。	
基本施策① ※①	3-1	まちと命を守る防災
基本施策② ※①		
基本施策③ ※①		
重点政策 ※②	1	2 ③

実施 (DO)

主な事業	自衛官募集事務事業	
予算額	20,000円	
決算額	16,660円	
財源 (一般財源)	1,660円	
(その他)	15,000円	
執行率	83.3%	
事業実績	町広報誌掲載 2回 (6月、12月)	

評価 (CHECK)

事業指標	自衛官募集の広報活動	
目標値	4回/年	
実績値	2回/年	
達成度	未達成	
担当課評価 ※③	町行事の中止により啓発機会が減少したが、町広報誌による啓発を強化した。	
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 ② 3 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い

改善 (ACTION)

課題	効果的な啓発方法を検討する必要がある。	
改善・対応策	自衛隊と連携し、町広報誌を始め、SNS等を活用した啓発活動を実施していく。	
推進方針 ※⑤	B	

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONIに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要

安全なまちづくり実現のため、常備消防である知多南部消防組合に係る負担金を支出します

担当課 防災危機管理室
防災安全係 内線222・223

予算科目

9 款 1 項 1 目 1 事業 知多南部消防組合分担金

予算額	380,000千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	380,000千円
決算額	380,000千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	380,000千円

計画 (PLAN)

主な事業	知多南部消防組合分担金事業	
事業内容	南知多町と美浜町で設置した「知多南部消防組合」で実施する火災出動業務、火災予防業務、救急業務等に係る費用を分担します。	
基本施策① ※①	3-1	まちと命を守る防災
基本施策② ※①	4-4	持続可能な行財政運営
基本施策③ ※①		
重点政策 ※②	1	2 ③

実施 (DO)

主な事業	知多南部消防組合分担金事業	
予算額	380,000,000円	
決算額	380,000,000円	
財源 (一般財源)	380,000,000円	
(その他)	0円	
執行率	100.0%	
事業実績	活動内容等 ・火災発生件数 11件 ・救急出動回数 952回 ・搬送患者数 912人	

評価 (CHECK)

事業指標	分担金の支出	
目標値	12回/年	
実績値	12回/年	
達成度	達成	
担当課評価 ※③	適正に遅延なく納入している。	
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い	低い 1 2 3 4 5 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い	低い 1 2 3 4 5 高い

改善 (ACTION)

課題	特になし	
改善・対応策	知多南部消防組合の事業内容を把握するとともに、年間支出計画により遅延なく分担金の納入事務を行う。	
推進方針 ※⑤	B	

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONIに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要

知多南部消防組合との緊密な連携のもと消防団の火災及び災害の出動体制の確立を図ります

担当課 防災危機管理室
防災安全係 内線222・223

予算科目

9 款 1 項 2 目 1 事業 消防一般管理費

予算額	29,518千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	643千円	町債	0千円	その他	17,306千円	一般財源	11,569千円
決算額	25,314千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	596千円	町債	0千円	その他	14,092千円	一般財源	10,626千円

計画 (PLAN)

主な事業	消防一般管理費
事業内容	非常備消防団の被服の購入及び退職報償金の支払い等を行います。
基本施策① ※①	3-1 まちと命を守る防災
基本施策② ※①	3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ
基本施策③ ※①	
重点政策 ※②	1 2 ③

実施 (DO)

主な事業	消防一般管理費
予算額	29,518,000円
決算額	25,314,048円
財源 (一般財源)	10,626,048円
(その他)	14,688,000円
執行率	85.8%
事業実績	R2消防団員数 366人 (前年度比40人減) ・R2退団者数 (～R2.3.31) 66人 ・R2入団者数 (R2.4.1～) 26人

評価 (CHECK)

事業指標	消防団の消防力の現況調査
目標値	1回/年
実績値	1回/年
達成度	達成
担当課評価 ※③	団員定数の削減など体制の見直しを図った。また、新型コロナウイルス感染症対策物品を購入し、団員の安全確保と、消防団活動の継続を図った。
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 3 ④ 5 高い 低い 1 2 3 4 5 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い 低い 1 2 3 4 5 高い

改善 (ACTION)

課題	常備消防の充実及び団員確保が困難なことによる、消防団体制の見直しが課題。
改善・対応策	他市町を参考に、分団の再編や定数の見直しを検討する。
推進方針 ※⑤	B

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONIに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要 消防団の主な行事である消防操法大会・観閲式・出初式を行います

担当課 防災危機管理室
防災安全係 内線222・223

予算科目 9 款 1 項 2 目 2 事業 消防推進事業費

予算額	1,597千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	1,597千円
決算額	124千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	124千円

計画 (PLAN)

主な事業	消防推進事業
事業内容	消防団の主な行事である消防操法大会・観閲式・出初式を行います。
基本施策① ※①	3-1 まちと命を守る防災
基本施策② ※①	3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ
基本施策③ ※①	
重点政策 ※②	1 2 ③

実施 (DO)

主な事業	消防推進事業
予算額	1,597,000円
決算額	124,060円
財源 (一般財源)	124,060円
(その他)	0円
執行率	7.8%
事業実績	・操法大会 中止 ・出初式 中止 ・観閲式 3/27 (縮小開催)

評価 (CHECK)

事業指標	消防操法大会・観閲式・出初式の開催
目標値	各1回/年
実績値	観閲式1回/年、操法大会・出初式中止
達成度	未達成
担当課評価 ※③	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、操法大会及び出初式を中止としたが、観閲式は縮小開催した。また、操法大会の代替訓練を実施し、団員の士気及び技術の向上が図れた。
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い

改善 (ACTION)

課題	消防団行事の実施については、新型コロナウイルス感染症感染対策が必要となる。
改善・対応策	行事の実施 (縮小・代替)、中止等の判断については、消防団幹部と検討していく。
推進方針 ※⑤	B

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONIに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要 消防団の緊急出動、訓練出動に係る報償費を支給し、分団の運営・活動を支援します

担当課 防災危機管理室
防災安全係 内線222・223

予算科目	9 款 1 項 2 目 3 事業	消防団員活動費										
予算額	21,416千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	21,416千円
決算額	20,394千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	20,394千円

計画 (PLAN)			実施 (DO)		
主な事業	消防団員活動事業		主な事業	消防団員活動事業	
事業内容	消防団の緊急出動、訓練出動に係る報償費を支給し、分団の運営・活動を支援します。		予算額	21,416,000円	
			決算額	20,393,800円	
			財源（一般財源）	20,393,800円	
			（その他）	0円	
			執行率	95.2%	
基本施策① ※①	3-1	まちと命を守る防災	事業実績	報償 366人分 分団運営費 本部及び5分団 火災出動件数 10件（延べ261人）	
基本施策② ※①	3-6	多様性を認め、共に支え合うコミュニティ			
基本施策③ ※①					
重点政策 ※②	1	2 ③			

評価 (CHECK)			改善 (ACTION)		
事業指標	消防団の消防力の現況の把握		課題	消防団員確保のため、分団運営費、報酬、報償費の見直しの検討が必要である。	
目標値	1回/年		改善・対応策	団員へのアンケートの実施や、他市町を参考とするなどし、分団運営費、報酬、報償費の見直しを検討する。	
実績値	1回/年		推進方針 ※⑤	B	
達成度	達成				
担当課評価 ※③	消防団の適正な運営を図った。				
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 3 ④ 5 高い				
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い				

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONIに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要 消防詰所・車庫及び消防自動車等の消防施設等の維持、管理に努めます

担当課 防災危機管理室
防災安全係 内線222・223

予算科目	9 款 1 項 2 目 4 事業	消防施設等維持管理費										
予算額	8,485千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	648千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	7,837千円
決算額	7,357千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	653千円	町債	0千円	その他	18千円	一般財源	6,686千円

計画 (PLAN)			実施 (DO)		
主な事業	消防施設等維持管理事業		主な事業	消防施設等維持管理事業	
事業内容	消防詰所・車庫及び消防自動車等の消防施設等の維持、管理に努めます。		予算額	8,485,000円	
基本施策① ※①	3-1	まちと命を守る防災	決算額	7,357,185円	
基本施策② ※①	4-4	持続可能な行財政運営	財源（一般財源）	6,686,185円	
基本施策③ ※①			（その他）	671,000円	
重点政策 ※②	1	2 ③	執行率	86.7%	
			事業実績	消防車両 車検 15台 消防ポンプ用ホース購入 50本	

評価 (CHECK)			改善 (ACTION)		
事業指標	消防団の消防力の現況の把握		課題	施設の老朽化による維持修繕費の増加 車両及びポンプの耐用年数に応じた更新等 整備が困難	
目標値	1回/年		改善・対応策	策定した防災・消防施設計画により、効果 的な整備を図る。	
実績値	1回/年		推進方針 ※⑤	B	
達成度	達成				
担当課評価 ※③	詰所の統廃合や配備車両・備品等の整理を 実施し、維持管理費の削減を図った。 防災・消防施設計画を策定した。				
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い				
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い				

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONIに対する評価
 ※④ 評価(妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要 感染リスクの高い状況下において救急患者の搬送に当たった海上運送業者を支援します

担当課 防災危機管理室
防災安全係 内線222・223

予算科目 9 款 1 項 2 目 5 事業 離島救急患者搬送事業費

予算額	840千円	財源内訳	国庫支出金	240千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	600千円
決算額	840千円	財源内訳	国庫支出金	500千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	340千円

計画 (PLAN)

主な事業	(新規) 離島救急患者搬送業者支援事業	(新規)
事業内容	感染リスクの高い状況下において救急患者の搬送に当たった海上運送業者に対して協力を支給します。	
基本施策① ※①	3-1	まちと命を守る防災
基本施策② ※①		
基本施策③ ※①		
重点政策 ※②	1	2 ③

実施 (DO)

主な事業	(新規) 離島救急患者搬送業者支援事業	(新規)
予算額		840,000円
決算額		840,000円
財源 (一般財源)		340,000円
(その他)		500,000円
執行率		100.0%
事業実績	5事業者、42件	

評価 (CHECK)

事業指標	補助金の適正な交付	
目標値	交付率100%	
実績値	交付率100%	
達成度	達成	
担当課評価 ※③	海上運送業者と連携を密にし、実績に対して100%の交付ができた。	
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 3 ④ 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い

改善 (ACTION)

課題	制度の必要性 補助金額の妥当性	
改善・対応策	新型コロナウイルス感染症及びワクチン接種の状況が変化していく中、制度の趣旨等を鑑みて、必要性や補助金額の妥当性を検討する	
推進方針 ※⑤	D	

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONIに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要 火災等に対応できるよう、消火栓等の適正な維持管理、整備に努めます

担当課 防災危機管理室
防災安全係 内線222・223

予算科目	9 款	1 項	3 目	1 事業	消火栓整備事業費									
予算額	7,691千円			財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	498千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	7,193千円
決算額	7,256千円			財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	443千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	6,813千円

計画 (PLAN)			実施 (DO)		
主な事業	消火栓整備事業		主な事業	消火栓整備事業	
事業内容	火災等に対応できるよう、消火栓等の適正な維持管理、整備に努めます。		予算額	7,691,000円	
基本施策① ※①	3-1	まちと命を守る防災	決算額	7,256,020円	
基本施策② ※①	3-4	安心な暮らしを支えるインフラ	財源（一般財源）	6,813,020円	
基本施策③ ※①	4-4	持続可能な行財政運営	（その他）	443,000円	
重点政策 ※②	1	2 ③	執行率	94.3%	
			事業実績	消火栓設置総数 1,061基 ・新設2基（内海、豊浜） ・ホース購入 30本	

評価 (CHECK)			改善 (ACTION)		
事業指標	消火栓等の現況の把握		課題	実施要望箇所の優先順位の検討及び施工困難箇所の対応が必要。	
目標値	1回/年		改善・対応策	水道課と連携し、施工個所の選定及び施工困難箇所の改善策等検討していく。	
実績値	1回/年		推進方針 ※⑤	B	
達成度	達成				
担当課評価 ※③	消防署と連携し、消火栓の現況把握を図った。水道課と連携し、地元調整を始め新設工事及び修繕等整備ができた。				
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い	1 2 3 ④ 5 高い			
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い	1 2 ③ 4 5 高い			

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONIに対する評価
 ※④ 評価(妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

担当課 防災危機管理室
防災安全係 内線222・223

事業概要 **小型動力ポンプ積載車等の計画的な更新、整備に努めます**

予算科目 9 款 1 項 3 目 2 事業 消防団備品整備事業費

予算額	8,923千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	7,900千円	その他	0千円	一般財源	1,023千円
決算額	8,269千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	7,300千円	その他	0千円	一般財源	969千円

計画 (PLAN)

主な事業	消防車両等購入
事業内容	小型動力ポンプ積載車1台(山海)、消防広報車2台(篠島・日間賀島)を購入します。
基本施策① ※①	3-1 まちと命を守る防災
基本施策② ※①	4-4 持続可能な行財政運営
基本施策③ ※①	
重点政策 ※②	1 2 ③

実施 (DO)

主な事業	消防車両等購入
予算額	8,923,000円
決算額	8,269,150円
財源(一般財源)	969,000円
(その他)	7,300,150円
執行率	92.7%
事業実績	消防車両総数 31台 消防ポンプ 30台 ・小型動力ポンプ積載車1台(山海) ・消防広報車2台(篠島、日間賀島)

評価 (CHECK)

事業指標	消防車両、消防ポンプの現況の把握
目標値	1回/年
実績値	1回/年
達成度	達成
担当課評価 ※③	車両等は、更新だけでなく廃車(廃棄)を行い、適正に維持管理ができるよう配備の見直しを図った。
基本施策有効評価(妥当性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い
費用対効果評価(効率性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い

改善 (ACTION)

課題	今後も継続して配備の見直しが必要である。
改善・対応策	策定した消防・防災施設計画により、効果的な整備を図る。
推進方針 ※⑤	C

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONIに対する評価
 ※④ 評価(妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要 町民等を災害から守るため、警備・訓練・研修の実施、防災設備の維持管理を行います

担当課 防災危機管理室
防災安全係 内線222・223

予算科目 9 款 1 項 4 目 1 事業 防災対策事業費

予算額	26,810千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	949千円	町債	0千円	その他	160千円	一般財源	25,701千円
決算額	24,859千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	482千円	町債	0千円	その他	168千円	一般財源	24,209千円

計画 (PLAN)			実施 (DO)		
主な事業	訓練・研修・警備等の実施	防災設備の維持管理	主な事業	訓練・研修・警備等の実施	防災設備の維持管理
事業内容	町主催による防災訓練及び防災研修、消防団による海水浴場警備及び年末夜警を実施します。 ・災害避難マップ等更新事業（新規）	防災行政無線等防災設備の適正な維持管理に努めます。	予算額	4,947,000円	21,863,000円
基本施策① ※①	3-1 まちと命を守る防災	3-1 まちと命を守る防災	決算額	3,600,963円	21,258,385円
基本施策② ※①	3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ	4-4 持続可能な行財政運営	財源（一般財源）	3,600,963円	20,608,385円
基本施策③ ※①			（その他）	0円	650,000円
重点政策 ※②	1 2 ③	1 2 ③	執行率	72.8%	97.2%
			事業実績	海水浴場警備 200人 年末夜景 360人 防災訓練 各自主防災会で実施（縮小） 防災リーダー養成講座 中止 家具転倒防止器具設置 4件 災害避難マップ等更新 ・災害避難マップシステム更新 ・防災マップ作成（津波、土砂災害・高潮）	防災ラジオ購入 50台 防災行政無線親局本体制御処理装置取替工事

評価 (CHECK)			改善 (ACTION)		
事業指標	訓練・研修・警備の実施状況の把握	防災設備の現況の把握	課題	改善・対応策	
目標値	1回/年	1回/年	防災訓練・講座の実施については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策が必要となる。	防災行政無線の各機器については、耐用年数に合わせた更新が必要となる。	
実績値	1回/年	1回/年		防災訓練等について、感染防止に配慮した内容や方法に変更するなど、自主防災会等と協議し決定する。	
達成度	達成	達成		毎年の保守点検に合わせ整備計画を見直し、適正な維持管理に努める。	
担当課評価 ※③	コロナ禍でも、対策を実施しながら消防団活動を継続した。防災訓練は、各地区自主防災会ができる範囲で防災力向上を図った。	適正な維持管理ができています。	推進方針 ※⑤	B	B
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 3 ④ 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い	※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONIに対する評価 ※④ 評価 (妥当性)…基本施策に対する有効性の高低 (効率性)…事業の費用対効果の高低 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討		
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い			

令和2年度 事業評価書

事業概要 非常食の備蓄、避難所備品の購入及び自主防災組織に対する支援を行います

担当課 防災危機管理室
防災安全係 内線222・223

予算科目 9 款 1 項 4 目 2 事業 災害対策事業費

予算額	15,512千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	857千円	町債	0千円	その他	1,404千円	一般財源	13,251千円
決算額	12,264千円	財源内訳	国庫支出金	1,819千円	県支出金	937千円	町債	0千円	その他	2,297千円	一般財源	7,211千円

計画 (PLAN)			実施 (DO)		
主な事業	避難所用備品購入事業	自主防災組織支援事業	主な事業	避難所用備品購入事業	自主防災組織支援事業
事業内容	非常食及び避難所での必要備品を購入します。	災害時における自助・共助のうちの共助を支援するため、自主防災組織に補助等を実施します。 資機材整備事業補助金 津波避難路整備事業補助金 活動事業補助金	予算額	6,055,000円	5,934,000円
			決算額	7,502,357円	4,761,454円
			財源（一般財源）	4,449,357円	2,761,454円
			（その他）	3,053,000円	2,000,000円
			執行率	123.9%	80.2%
基本施策① ※①	3-1 まちと命を守る防災	3-1 まちと命を守る防災	事業実績	非常用食料 12,496食 保存飲料水 2,400本 避難所用感染症対策備品 ・一人用テント 100台 ・簡易ベッド 100台 ・消耗品（マスク、フェイスガード、防護服、消毒液等）	資機材整備事業費補助金 7団体 津波避難路整備事業補助金 12団体 活動事業補助金 7団体 コミュニティ助成事業補助金 1団体
基本施策② ※①	4-4 持続可能な行財政運営	3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ			
基本施策③ ※①					
重点政策 ※②	1 2 ③	1 2 ③			

評価 (CHECK)			改善 (ACTION)		
事業指標	非常食の備蓄	補助金制度の説明会の実施	課題	備蓄品の保管場所確保が課題である。	より補助金制度を活用してもらうために、周知だけでなく、制度内容の検証も必要
目標値	備蓄総数 47,800食	1回/年			
実績値	備蓄総数 47,844食	1回/年			
達成度	達成	達成			
担当課評価 ※③	備蓄食料は目標数に達することができた。新型コロナウイルス感染症対策のための備品等を購入した。	制度を理解していただき、適正な交付事務により、補助金を活用した自主防災会活動の支援ができた。	改善・対応策	各地区防災センターの有効活用や、避難所となる学校等と協議していく。	補助金の活用等について、今後も自主防災会へ周知を図るとともに、制度内容の検証を行う。
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 3 ④ 5 高い	低い 1 2 3 ④ 5 高い	推進方針 ※⑤	B	B
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 ③ 4 5 高い			

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONIに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要 高潮等の災害に備え、樋門門扉の維持管理を実施します

担当課 防災危機管理室
防災安全係 内線222・223

予算科目 9 款 1 項 4 目 3 事業 樋門門扉維持管理費

予算額	1,510千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	1,510千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	0千円
決算額	746千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	744千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	2千円

計画 (PLAN)			実施 (DO)		
主な事業	樋門門扉維持管理事業		主な事業	樋門門扉維持管理事業	
事業内容	高潮等の災害に備え、樋門門扉の維持管理を実施します。		予算額	1,510,000円	
基本施策① ※①	3-1	まちと命を守る防災	決算額	745,600円	
基本施策② ※①	3-4	安心な暮らしを支えるインフラ	財源 (一般財源)	1,600円	
基本施策③ ※①	4-4	持続可能な行財政運営	(その他)	744,000円	
重点政策 ※②			執行率	49.4%	
			事業実績	樋門等操作訓練 訓練回数6回/年 出動人員 延べ691人 (消防団員568人、町職員139人)	

評価 (CHECK)			改善 (ACTION)		
事業指標	施設の操作訓練を兼ねた点検を実施		課題	操作中の事故や操作ミスによる故障を防ぐため、新入団員王の操作習熟が必要	
目標値	6回/年		改善・対応策	今後も訓練を実施し、安全な操作方法指導を徹底していく。	
実績値	6回/年		推進方針 ※⑤	B	
達成度	達成				
担当課評価 ※③	コロナ禍においても、継続して消防団活動を行い、樋門等の点検及び操作訓練を実施した。				
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 3 ④ 5 高い				
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い				

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONIに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要 町民等を災害から守るため、防災施設の維持管理を行います

担当課 防災危機管理室
防災安全係 内線222・223

予算科目 9 款 1 項 4 目 4 事業 防災施設維持管理費

予算額	6,693千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	40千円	一般財源	6,653千円
決算額	6,090千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	38千円	一般財源	6,052千円

計画 (PLAN)

主な事業	防災施設の維持管理	
事業内容	町民等を災害から守るため、防災施設の維持管理を行います。 ・内海防災センター ・師崎避難所 ・篠島防災センター ・日間賀島防災センター	
基本施策① ※①	3-1	まちと命を守る防災
基本施策② ※①	4-4	持続可能な行財政運営
基本施策③ ※①		
重点政策 ※②	1 2 ③	

実施 (DO)

主な事業	防災施設の維持管理	
予算額	6,693,000円	
決算額	6,089,606円	
財源 (一般財源)	6,051,703円	
(その他)	37,903円	
執行率	91.0%	
事業実績	師崎避難所窓取替工事 師崎避難所自動ドア改修工事	

評価 (CHECK)

事業指標	防災施設の現況把握のための点検実施	
目標値	12回/年	
実績値	12回/年	
達成度	達成	
担当課評価 ※③	適正な維持管理ができています。	
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い

改善 (ACTION)

課題	施設を適正に管理するためのマニュアル等の整備が必要	
改善・対応策	各施設の管理マニュアルを策定し、適正な維持管理に努める。	
推進方針 ※⑤	B	

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONIに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和2年度 事業評価書

事業概要 南海トラフ巨大地震・津波等に備え災害に強いまちづくりを推進します

担当課 防災危機管理室
防災安全係 内線222・223

予算科目 9 款 1 項 4 目 5 事業 防災・減災施設整備事業費

予算額	60,350千円	財源内訳	国庫支出金	9,879千円	県支出金	0千円	町債	46,200千円	その他	0千円	一般財源	4,271千円
決算額	36,680千円	財源内訳	国庫支出金	1,400千円	県支出金	0千円	町債	33,000千円	その他	0千円	一般財源	2,280千円

計画 (PLAN)

主な事業	防災・減災施設整備事業費	
事業内容	南海トラフ巨大地震・津波等に備え災害に強いまちづくりを推進します。 ・師崎地区山ノ神地内避難場所、避難経路整備事業 ・豊浜地区防災拠点施設整備事業	
基本施策① ※①	3-1	まちと命を守る防災
基本施策② ※①	4-4	持続可能な行財政運営
基本施策③ ※①		
重点政策 ※②		

実施 (DO)

主な事業	防災・減災施設整備事業費	
予算額	60,350,000円	
決算額	36,679,738円	
財源 (一般財源)	2,280,000円	
(その他)	34,399,738円	
執行率	60.8%	
事業実績	師崎山ノ神地内避難場所、避難路整備事業 (用地買収) 豊浜地区防災拠点施設整備事業	

評価 (CHECK)

事業指標	避難場所、避難路等の現況の把握	
目標値	1回/年	
実績値	1回/年	
達成度	達成	
担当課評価 ※③	師崎山ノ神地内避難場所、避難路整備のための用地購入ができた。 豊浜地区防災拠点施設として、南知多町豊浜防災センターが完成した。	
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 3 ④ 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 ③ 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い

改善 (ACTION)

課題	特になし	
改善・対応策	今後は、地元の要望等を聞きながら、整備箇所について検討する。	
推進方針 ※⑤	C	

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONIに対する評価
 ※④ 評価 (妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討